



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 米澤 幸男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,972	△10.0	389	—	450	—	△145	—
2019年3月期第2四半期	4,412	3.3	△422	—	△385	—	△315	—

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 △141百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △174百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△11.05	—
2019年3月期第2四半期	△23.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	27,443	15,881	50.3
2019年3月期	26,290	16,113	53.5

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 13,814百万円 2019年3月期 14,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	7.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,316	△1.5	601	—	692	—	△37	—	△2.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	14,000,000 株	2019年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	802,007 株	2019年3月期	812,007 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	13,193,785 株	2019年3月期2Q	13,184,386 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調がみられたものの、海外では米中両国の貿易摩擦の長期化や中東ホルムズ海峡をめぐる緊迫した状況等が世界経済に影響を及ぼす懸念材料となり、景気の先行きは不透明感が増しております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では就労人口の増加等によるユニフォーム業界の堅調な商いに支えられたものの、百貨店を中心とした衣料品の伸び悩みが依然として続いており、厳しい状況で推移しました。不動産活用事業は、当社の賃貸物件であった大型商業施設「イオンモール川口」につきまして2018年9月に賃貸借契約が終了した影響から賃貸収入が減少しました。一方、その他の賃貸物件であるイオンモール川口前川や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、営業収益の安定化が図られております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,972百万円（前年同期比10.0%減）となりました。営業利益は389百万円（前年同期は422百万円の営業損失）となり、経常利益は450百万円（前年同期は385百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は145百万円（前年同期は315百万円の同純損失）となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。なお、事業別セグメントの売上高及び営業利益又は損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

① 繊維事業

マテリアル部は、リネン生地販売が堅調に推移したものの、原糸販売は産地の生産調整により需要が減少し、減収減益となりました。

アパレル部は、引き続きユニフォーム業界が安定している中、主力である法人ユニフォームの直需と百貨店からのスポーツ関連商品等の新規物件受注により増収となりましたが、経費が増え減益となりました。

カジュアル部は、キャンプ関連商品の販売が伸び増収となり、また不採算店舗の撤退を進めたことから費用が減少し、営業損失が縮小しました。

刺繍レースを扱うフロリア(株)は、新規販売先の売上が伸びたものの、服地及び付属レースの売上が減少したことから減収減益となりました。

この結果、繊維事業の売上高は2,392百万円(前年同期比7.8%減)となり、営業損失は11百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、2018年9月に「イオンモール川口」の賃貸借契約が終了したことから、売上高は減収となりましたが、前年同期に実施した加速償却による多額の費用の計上がなくなった影響から増益となりました。

「イオンモール川口前川」は、近隣の大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されており、さらに隣接地に病院施設を賃貸することにより不動産活用事業は安定した収益基盤を維持しております。

なお、「イオンモール川口」は、2019年9月に解体が完了し、当第2四半期連結累計期間に解体撤去費用621百万円を特別損失に計上しております。また、2019年7月にイオンモール(株)との間で新しい大型商業施設「(仮称)イオンモール川口」の建物賃貸借基本協定を締結しており、2021年3月竣工を目途にすでに着工しております。

さらに、不足している産婦人科を誘致し地域に貢献すると共に、安定収益を維持するために新たな賃貸施設である「(仮称)川口レディースクリニック」を着工しており、2020年4月には賃貸を開始する予定であります。

この結果、不動産活用事業の売上高は1,129百万円（前年同期比16.9%減）、営業利益は353百万円（前年同期は394百万円の営業損失）となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)が営む「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場のうち、最大規模の川口グリーンゴルフ練習場において、前年同期は設備更新工事により入場者が一時的に減少しましたが、当四半期より入場者が増加し増収となりました。また、当四半期は、前年同期の様な設備更新工事による多額な費用計上もなく、大幅な増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は459百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は47百万円（前年同期は15百万円の営業損失）となりました。

④ その他の事業

ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物の新規レンタル契約獲得と慶弔用ギフト販売により増収となりましたが、経費が増加し営業損失が増加しました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般住宅施工が増えたことや、大口物件の受注もあり増収増益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は298百万円（前年同期比57.0%増）、営業利益は17百万円（前年同期比1,204.0%増）となりました

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末に比べ1,152百万円増加して27,443百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が借入により増加したことや新しい大型商業施設等の建設着工に伴う建設仮勘定（有形固定資産の「その他（純額）」）の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,384百万円増加して11,561百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金や流動負債の資産除去債務が減少したものの、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ231百万円減少して15,881百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ217百万円増加して2,000百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ26百万円減少して813百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失が減少したことや、固定資産除却損の計上が増加したものの、減価償却費が大幅に減少したこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前第2四半期連結累計期間に比べ2,407百万円増加して2,477百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出や、固定資産の除却による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動の結果、得られた資金は前第2四半期連結累計期間に比べ2,327百万円増加して1,881百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月16日の決算短信で発表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,039,631	2,246,567
受取手形及び売掛金	1,149,892	956,918
有価証券	-	100,140
商品及び製品	1,132,870	1,073,991
仕掛品	10,986	15,775
原材料及び貯蔵品	33,883	36,808
その他	415,082	262,804
貸倒引当金	△2,923	△2,829
流動資産合計	4,779,423	4,690,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,496,554	8,368,297
土地	7,295,223	7,462,378
その他（純額）	587,322	1,824,557
有形固定資産合計	16,379,100	17,655,234
無形固定資産	33,790	29,974
投資その他の資産		
投資有価証券	4,388,271	4,285,807
その他	744,089	837,718
貸倒引当金	△34,011	△55,611
投資その他の資産合計	5,098,349	5,067,914
固定資産合計	21,511,240	22,753,123
資産合計	26,290,663	27,443,298

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	706,647	568,747
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	493,684	700,046
未払法人税等	849	8,740
賞与引当金	53,661	54,094
役員賞与引当金	6,350	3,175
資産除去債務	451,141	-
1年内返還予定の預り保証金	507,639	490,000
その他	272,938	270,157
流動負債合計	2,542,912	2,174,961
固定負債		
長期借入金	1,302,258	3,057,414
役員退職慰労引当金	259,752	245,347
退職給付に係る負債	168,882	175,962
長期預り保証金	5,468,589	5,475,382
資産除去債務	346,394	348,117
その他	88,603	84,556
固定負債合計	7,634,479	9,386,780
負債合計	10,177,392	11,561,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	871,061	872,246
利益剰余金	11,739,863	11,502,684
自己株式	△494,970	△490,324
株主資本合計	13,517,955	13,286,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	618,302	595,491
退職給付に係る調整累計額	△69,266	△67,125
その他の包括利益累計額合計	549,035	528,366
新株予約権	7,335	5,768
非支配株主持分	2,038,945	2,060,816
純資産合計	16,113,271	15,881,557
負債純資産合計	26,290,663	27,443,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,412,721	3,972,871
売上原価	4,063,452	2,864,929
売上総利益	349,268	1,107,942
販売費及び一般管理費	772,045	718,126
営業利益又は営業損失(△)	△422,777	389,815
営業外収益		
受取利息	1,940	955
受取配当金	51,865	51,134
持分法による投資利益	-	38,444
その他	39,447	15,353
営業外収益合計	93,252	105,886
営業外費用		
支払利息	17,481	12,585
持分法による投資損失	21,998	-
貸倒引当金繰入額	10,000	26,473
その他	6,663	6,113
営業外費用合計	56,144	45,172
経常利益又は経常損失(△)	△385,668	450,530
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1,408
特別利益合計	-	1,408
特別損失		
投資有価証券評価損	6,448	-
固定資産除却損	-	621,610
特別損失合計	6,448	621,610
税金等調整前四半期純損失(△)	△392,117	△169,672
法人税、住民税及び事業税	169,016	11,312
法人税等調整額	△269,661	△59,585
法人税等合計	△100,645	△48,272
四半期純損失(△)	△291,472	△121,399
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,370	24,424
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△315,842	△145,823

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△291,472	△121,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112,689	△28,552
持分法適用会社に対する持分相当額	3,852	8,061
その他の包括利益合計	116,541	△20,490
四半期包括利益	△174,930	△141,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△196,978	△166,493
非支配株主に係る四半期包括利益	22,048	24,603

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△392,117	△169,672
減価償却費	1,242,356	298,560
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,291	21,506
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,331	433
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,175	△3,175
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,422	7,080
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,772	△14,404
受取利息及び受取配当金	△53,805	△52,089
支払利息	17,481	12,585
持分法による投資損益(△は益)	21,998	△38,444
固定資産除却損	384	621,610
売上債権の増減額(△は増加)	△119,608	192,974
たな卸資産の増減額(△は増加)	△23,647	51,165
仕入債務の増減額(△は減少)	201,900	△137,900
預り保証金の増減額(△は減少)	△48,139	△10,846
その他	△36,747	△94,625
小計	823,036	684,758
利息及び配当金の受取額	55,639	54,817
利息の支払額	△17,481	△12,585
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△21,057	86,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	840,137	813,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	30,000	-
有形固定資産の取得による支出	△116,592	△1,587,898
固定資産の除却による支出	△205	△927,752
投資有価証券の取得による支出	△60,384	△67,770
投資有価証券の売却による収入	-	67,440
定期預金の増減額(△は増加)	17,095	10,895
貸付けによる支出	△700	△1,200
貸付金の回収による収入	3,060	2,690
その他	57,609	26,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,118	△2,477,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	250,000
短期借入金の返済による支出	△320,000	△220,000
長期借入れによる収入	-	2,240,000
長期借入金の返済による支出	△288,894	△278,482
配当金の支払額	△130,467	△91,354
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	1,848	5,190
その他	△55,745	△21,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△445,990	1,881,486
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	324,028	217,831
現金及び現金同等物の期首残高	2,434,695	1,782,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,758,724	2,000,067

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,590,912	1,222,964	438,753	4,252,630	160,090	4,412,721	—	4,412,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	135,164	29	139,394	30,030	169,424	△169,424	—
計	2,595,112	1,358,129	438,783	4,392,024	190,120	4,582,145	△169,424	4,412,721
セグメント利益 又は損失(△)	△15,119	△394,645	△15,990	△425,755	1,368	△424,386	1,609	△422,777

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,388,760	994,011	459,946	3,842,719	130,152	3,972,871	—	3,972,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	135,164	—	139,364	168,423	307,787	△307,787	—
計	2,392,960	1,129,175	459,946	3,982,083	298,575	4,280,659	△307,787	3,972,871
セグメント利益 又は損失(△)	△11,671	353,331	47,076	388,737	17,849	406,586	△16,770	389,815

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、緑化事業、インテリア施工事業を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。